

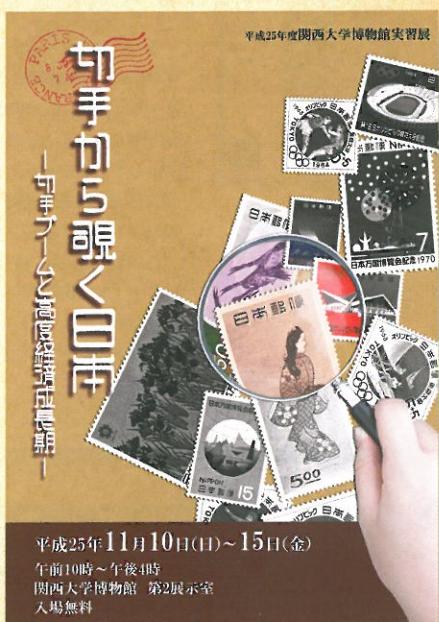
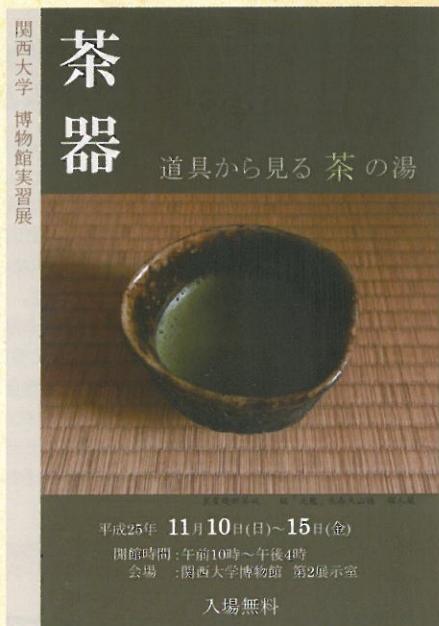
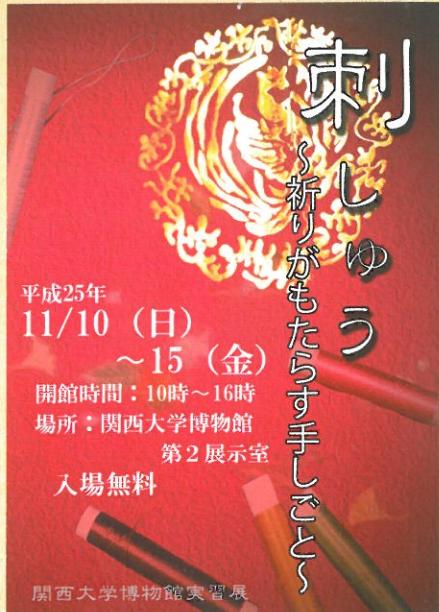
平成  
25年度

# 関西大学博物館実習展

11月10日(日)~11月15日(金)

開館時間・10時~16時 / 入館料・無料

関西大学博物館 第2展示室(簡文館内)



# 平成25年度 関西大学博物館実習展



## 刺しゅう ~祈りがもたらす手しごと~

刺しゅうは洋の東西を問わず、昔から魔除けや宗教的な意味を持ち、装飾的な価値を含めて今日まで受け継がれてきた芸術です。

現代においても、皆さんに身に付けています。

今や身近なものとなった刺しゅうですが、かつては健康や長寿といった作り手の祈りが一針一針に込められていたことをご存じですか？

実習展では、作品に込められた思いや願いを展示します。作り手たちが込めた祈りとはどのようなものであったのか、是非ご覧ください。



## 茶器 道具から見る茶の湯

千利休以来、茶は一つの道として受け継がれてきました。今日では海外でも一つの芸術として注目を集めています。茶の湯は単にお菓子を頂き茶を喫むのではなく、茶庭や道具など、自然や美術工芸品を味わう場でもあります。つまり様々な芸術的要素があるのです。そこで茶道具を御覧になることで、より関心を持って頂けるのではないかと考え、陶芸作家長春天山氏の作品と茶道具を展示することにしました。天山氏は飛騨高山の山中で桃山古陶を基に作陶される伝統工芸作家であります。道具から茶の湯とはどういうものであるかを知って頂ければ幸いです。



## 切手から覗く日本 一切手ブームと高度経済成長期ー

今では目にする機会が減ってしまった切手にも、ブームがあったということを皆さんはご存知でしょうか。とある企業がお菓子のおまけとして切手を付けたことを契機に、老若男女を巻き込むほどの大ブームとなりました。当時の日本は、まさに高度経済成長期でもありました。

本展では、切手の展示をメインとし、「切手ブーム」だけでなく、当時の世相を反映する「東京オリンピック」「日本万国博覧会」にも焦点をあてて紹介していきます。若い世代の方にはかつての社会や文化に興味を持っていただき、当時を知る方には郷愁を感じていただければ幸いです。



## 子どものおもちゃ ~1970年代を見る~

野球盤、サッカー盤、ブリキのミニカー、おはじき…昔懐かしおもちゃのあれこれ、中でも今回は、1970年代に焦点を当てた展示をします。まだ家庭ゲーム機が普及していない時代、友達や家族と、子供たちはどんな遊びをしていたのでしょうか。

どこか懐かしさを感じさせるおもちゃからは、そんな当時の様子が垣間見えます。古き良き日本文化のあたたかさ、懐かしさ、そして新鮮さに、大人も子どもも、気付くとにっこりしているでしょう。

実習展当日には、ゲームの体験コーナーも設けます。忙しい日々を少し忘れて、すてきな時代にタイムスリップしてみませんか？



## いつまでも健康に ~今も昔も変わらぬ思い~

今日、インターネットやテレビショッピングなどでサプリメントや健康器具が人気を博し、健康志向が高まっています。この背景には、「いつまでも健康に、長生きしたい」という人々の強い思いが感じられます。しかしながら、このような思いを抱くのは、現代に生きる私たちだけではありません。昔の人々もこのような思いを抱いていたのです。

この展示では、祈り・医療・民間療法・温泉という4つの視点から、昔から人々がどのように健康に、長生きしようとしていたのかを見ていきます。健康を求める人々の足跡を、あなたも辿ってみませんか？



## お風呂屋さんへ行こう

みなさんはお風呂屋さんを知っていますか？

「銭湯」と呼ばれる公衆浴場は関西では「お風呂屋さん」として親しまれてきました。そこには、体を清潔にするためや、疲れを癒すためだけにとどまらない、特徴的な文化、人々との交流、たくさんの魅力が詰まっています。

一方で、相次ぐ廃業など、お風呂屋さんを取り巻く事情は良くありません。

私たちの展示を通して、少しでも多くの方が、お風呂屋さんの楽しみ方に気づき、行ってみたい感じもらいたいと思います。

# 関西大学博物館

関西大学千里山キャンパス 簡文館内  
〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 TEL : 06-6368-1171  
<http://www.kansai-u.ac.jp/Museum/index.html>  
E-mail : hakubutsukan@ml.kandai.jp

■アクセス 関西大学千里山キャンパス 阪急千里線「関大前」駅下車 徒歩 10 分

